



2025年3月24日

各位

会社名 池上通信機株式会社  
代表者名 代表取締役社長 清森 洋祐  
(コード番号 6771 東証スタンダード市場)  
問合せ先 常務取締役常務執行役員  
経営管理本部長 青木 隆明  
(TEL. 03 - 5700 - 1113)

## 業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年3月24日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2024年5月9日に公表しました2025年3月期の通期連結業績予想および1株当たり期末配当予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正について

##### (1) 2025年3月期通期連結業績予想数値の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 22,500	百万円 800	百万円 700	百万円 600	円 銭 93.69
今回修正予想(B)	20,300	200	200	160	24.97
増減額(B-A)	△2,200	△600	△500	△440	
増減率(%)	△9.8	△75.0	△71.4	△73.3	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	21,603	794	902	679	106.15

##### (2) 修正の理由

売上高につきましては、第一の要因として、メディカル事業の注力市場である中国向け医療用カメラの販売・納入について、当第4四半期における売上高および利益の確保に向け、中国医療機器メーカーと鋭意交渉・商談を進めてまいりましたが、来期以降に納入が延期される公算が大となりました。これは、官公立病院における内視鏡の入札状況は徐々に回復傾向にあるものの、年度を通しての反腐敗運動（中国政府による病院関係者の贈収賄の摘発）の継続および中国経済の景気低迷、今後の米国との関税動向等が中国医療機器メーカーの経営判断に大きく影響したものであり、その結果、当第4四半期の納入が当初の予想を大幅に下回る見込みです。また、海外の放送用カメラにつきましても、特に北米市場における新大統領就任後の政策動向見極めによる客先設備投資の先送りや、中東市場で一部大型案件の計画延期が生じ、売上高減少の一要因となりました。

損益面につきましては、上記による売上高の減少と併せ、特に収益性の高い中国向け医療用カメラの納入が来期以降に延期となったことによる大幅な減益が影響し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに当初の予想を下回る見込みです。

## 2. 配当予想の修正について

### (1) 2025年3月期配当予想の修正

	年 間 配 当 金		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前回予想	円 銭 —	円 銭 33.00	円 銭 33.00
今回修正予想	—	10.00	10.00
当期実績	0.00		
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	0.00	30.00	30.00

### (2) 修正の理由

当社は、株主の皆さまへの利益還元が経営の重要な責務であるという認識のもと、収益の状況や経営環境に対応した安定配当の継続を基本とし、企業体質の強化と将来の事業展開に備えるための内部留保の充実などを勘案し、配当を行うことを基本としています。

2025年3月期の期末配当予想につきましては、今回の業績予想の修正結果を考慮し、且つ、人的資本投資や成長戦略のための内部留保の拡充等を総合的に勘案しつつ、当社の株主還元方針を踏まえ、誠に遺憾ながら当初の1株当たり33円の配当予想を10円に修正させていただきます。

株主の皆さまにおかれましては、何卒ご理解の上、引続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以上